

ネットワーキング

ありたい姿

当グループが有する多様な経済主体との接点や信託が持つ金融インフラ機能などの強みを活かしつつ、グローバルなプレイヤーとの連携・協働により当グループだけでは成しえない価値の共創を目指します。特に、巨額の資金需要が見込まれる社会

課題領域に着目し、当グループが持つ高度な専門性と外部の先進的な知見などを用いて新しい優れた投資機会を創出し、国内を中心とした多様な投資家との結節点となることを通じて、社会課題の解決と資金・資産・資本の好循環を実現します。



環境認識

- 気候変動問題や人口動態を起因とした地域経済衰退などの新たな社会課題の顕在化、当該社会課題領域における巨額の資金需要
- グローバル情勢・金融政策の転換等に伴う投資家・運用会社の経営課題の複雑化、運用高度化に資する新たな投資機会探求

当グループの提供する価値

- 先進的な海外プレイヤーとの協業などを通じたインベストメントチェーンの強化による良質な投資機会の提供
- 地域における各主体が相互補完関係を構築しつつ、地域外の経済主体などとの関係構築により、多面的に連携、共創していく関係の構築



岡村 研二朗氏
ジャパン・エクステンシブ・
インフラストラクチャー株式会社
代表取締役CEO

国内インフラ領域での好循環創出に向けて

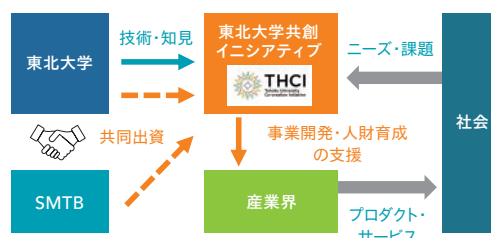
Interview

ジャパン・エクステンシブ・インフラストラクチャー（以下、JEXI）は国内インフラ領域を専門とする投資助言会社として2023年に設立しました。同年9月には三井住友信託銀行も出資する国内総合型インフラファンドに対してJEXIが投資助言を開始しています。日本経済を支えるインフラは、今後時代の進化や社会の変化に合わせて新しいタイプのインフラ領域がその裾野を拡大していくと見込まれます。JEXIは、インフラ投資規模の拡大・投資対象の多様化を見据えながら、拡大し続ける国内インフラ領域において社会課題の解決を推進するプラットフォームとなることを目指し、皆さまから長く信頼される運営に努めています。

ローカル

社会課題解決に資するエコシステムの構築

投融资にかかる高い専門性や多様な経済主体との接点を有する当グループのポジションを活かし、社会課題解決に資する新たな事業開発および投資機会の創出を通じて資金の好循環を創造していきます。この趣旨のもと、事業横断の連携体制や地域毎のハブとなる主要な営業店を介しながら、地域の企業や自治体、大学、金融機関などとのネットワークを発展させてきました。2023年5月には包括連携協定を締結している東北大学と、国立大学初となる民間との共同出資子会社を設立しました。本共同出資子会社を通じて、社会の課題・ニーズに応える大学の研究成果や技術を産業界に還元する取り組みを推進していきます。



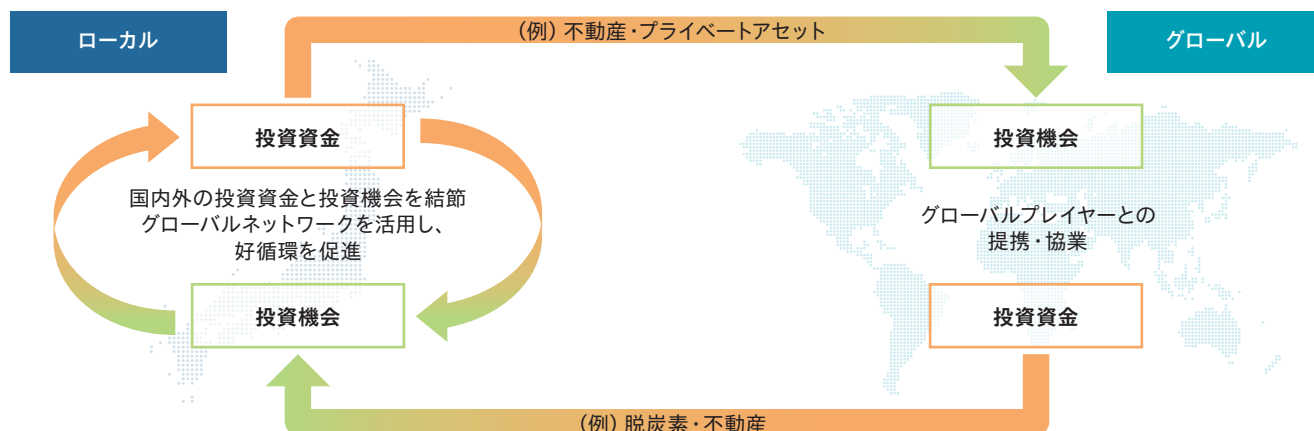
グローバル

グローバルプレイヤーとの新たな投資機会の創出

当グループと補完関係にあるグローバルなプレイヤーとのネットワーキングを通じ、本邦投資家に対するグローバルな投資機会の提供や先進的なノウハウを活用し、新たなビジネスを創っていきます。2022年7月に業務提携を締結した米国オルタナティブアセットマネージャーのApolloグループとは、金融法人や年金投資家向けの良質な海外の投資機会の提供や安定利回りの期待できる運用商品の共同開発および提供を開始しました。



- オルタナティブアセット等の運用で世界トップクラスの実績
- 資産運用ビジネスと保険ビジネスの融合
- 資産運用・管理の一気通貫サービス
- 国内最大級の投資家基盤



インフラファンド:投資家との協働を通じた国内インフラ市場への資金循環創出

2023年9月にJEXIを投資助言会社とする、国内の幅広いインフラ事業などを投資対象とする国内総合型インフラファンド1号（以下、本ファンド）が組成されました。AUMは当初の計画を上回る330億円（2024年5月）まで至り、本ファンドの趣旨に共感いただいた多くの金融法人の皆さまに参画いただきました。出資いただいた全国の金融法人の皆さまとは、潜在的な資金需要が見込まれる各地域のインフラ投資の情報に関するネットワークを構築することを通じ、本ファンドの投資を促進させ、日本経済や地域社会を支えるインフラ領域における資金の好循環を創出していきます。

